

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年9月10日（月）～9月16日（日）〔平成24年第37週〕の感染症発生状況

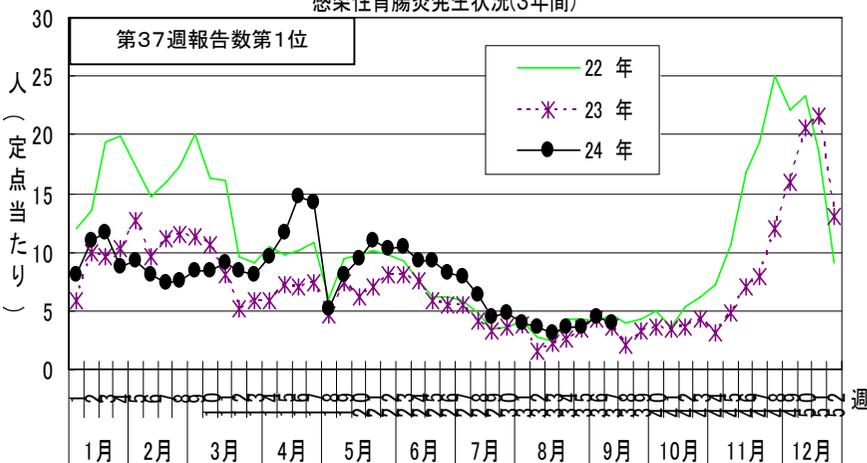
第37週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)ヘルパンギーナでした。

感染性胃腸炎は定点当たり4.00人と前週（4.39）より患者報告数はやや減少し、例年よりもやや低いレベルで推移しています。

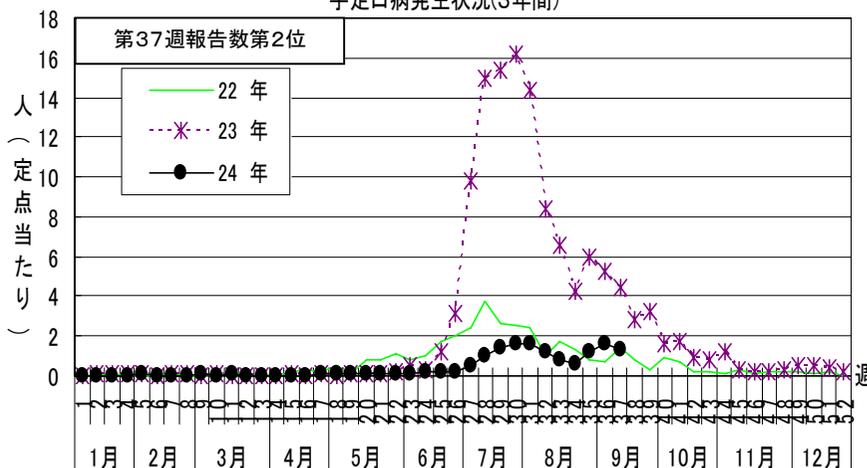
手足口病は定点当たり1.30人と前週（1.15）より患者報告数はやや増加しましたが、例年よりも低いレベルで推移しています。

全国的に、例年に比べRSウイルス感染症の患者報告数が非常に多くなっています。例年12月頃をピークに流行しますので、冬季に向けて注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



胸に空洞！？ 失恋ですか？—いえ、結核です。

平成24年9月24日から9月30日までは結核予防週間です。この結核予防週間を契機に、結核に関する正しい知識を深め、感染予防及びまん延防止に努めましょう。

こんなときは医療機関へ！！

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。風邪かなと思う次のような症状がある場合は、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。

- ① 2週間以上続く「せき」や「たん」
- ② 体重減少
- ③ からだのだるさ・微熱

※高齢者の場合、結核特有の症状がないこともありますので、体調がすぐれない状態が長く続くようなら、医療機関を受診しましょう。



結核って過去の病気じゃないの！？

日本の結核の現状は、年間約2万3千人の新規患者が発生し、約2千人が亡くなっており、世界的にも結核の「**中まん延国**」として位置付けられていることなどから、引き続き十分な注意が必要です。

また、川崎市は全国平均よりも高い結核罹患率(H22年)となっています。

全国的には感染者の高齢化が問題になっていますが、川崎市では59歳以下の男性の割合が高く、また、10代の感染が問題になっていますので、注意が必要です。